

## 三河商人道

PART  
157

有限会社 静香園

代表取締役

杉坂 充司 君

青年部とは  
「ナビゲーション」

お茶の小売りを行っている杉坂充司さん。大学を卒業して初めに就職したのは食品会社でした。年間3億円もの売り上げを上げる営業マンだったそうです。3年後には、自分のノウハウを売れる商売と思いNECの代理店の営業に転職。その後、究極の営業を求め製薬会社に入社。大阪にて2ヶ月缶詰で猛勉強したそうです。製薬会社での担当部署は、愛知県内の100床以上の病院だったそうです。そこでも売り上げを上げ支店長表彰まで受けられた経験もあるそうです。順風満帆な生活を送っていた30歳の頃、実家であったお茶屋さんで廃業の危機！親父さんから「できれば継いでほしい」と言われ、今までの軌道に乗ってきた生活を捨て経営難のお茶屋さんを継ぐことになったそうです。継いで1年後にアピタ豊橋店に出店！そこでは、抹茶ソフトクリームが大ヒット。1日2800本売れる日本記録を作ったそうです。現在は、本業のお茶屋さんはもちろん、派遣業も営まれています。車の設計を専門に40名ほど人材を抱えているそうです。そして今年、アピタ元町店に「持ち帰り寿司」をオープンされる予定です。今後は、中部地区～海外展開まで目指されています。現在は、3業種営まれています、どの仕事も「心の通った商売をしたい」を心がけているそうです。

30歳で家業を継いだ杉坂さん。地元の方と繋がりも少なく人脈を広げたい思いで、野澤敏彦さん(現在OB)に紹介していただき入会されたそうです。

印象深い青年部活動は、平成16年度の交流委員長を務めたときが思い出に残っていると語る杉坂さん。1回目の理事会で議案書3つ・報告書1つと出だしからハードな経験を話して頂きました。知多三河エリア・ソフトボール大会と懇親会が担当だったそうです。大会会場がなかなか見つからなかったこと、雨天時の対応、大会が終わった時に当時の永田会長にほめていただいた事を、思い出しながら楽しそうに語ってくれました。

趣味は、5年前までマイナースポーツ同好会をつくり、綱引き・ボルタリング・ママチャリレース・富士ヒルクライムレース・鈴鹿8時間耐久ロードバイクレース等少しマイナーなスポーツを仲間と趣味としてやっていたそうです。現在は、ゴルフが趣味。今年に入り仕事の付き合いで始めたゴルフ、今は楽しくて趣味になったそうです。因みに最高スコア124、アベレージ130です。

青年部とは「ナビゲーション」と語る杉坂さん。「自分が仕事をしていると今おかれている位置が分からなくなることがある。青年部に参加すると自分がどこにいるのかナビゲートしてくれる。また、間違っている時は、修正してくれる(アドバイス)。そして、目的地に行かせてくれる場所が岡崎商工会議所青年部」と語って頂きました。



取材担当/  
組織活性委員会  
水鳥陸章、小林正和、  
安藤紀朋、加藤淳、  
神谷浩、須藤剛、  
花市佳明、近藤知之、  
福田智士、苅谷大作、  
鶴田実、杉山恵理奈